

事務事業評価表

○基礎情報

課名		病院経営企画課	作成責任者	常勤職員		常勤職員以外			総従事者	時間外勤務時間	
施策目標	21	効果的・効率的に病院を経営する	岩澤 健治	管理職	左記以外	再任用短時間	臨時職員	非常勤嘱託職員	総人工	総時間	一人あたり月平均
				1 人	2 人	0 人	0 人	0 人	3 人	505 時間	21.0 時間

1 施策指標と実績(Do)

施策指標名	4次実施計画の 現状値	目標値 (R2年度)	実績値		
			H29年度	H30年度	R元年度
経常収支比率	90.70%	100.0%以上	89.2%	91.8%	99.5%
医業収支比率	87.1%	97.0%以上	87.1%	89.7%	91.4%
病床利用率	70.9%	83.0%以上	75.2%	74.3%	75.1%

(施策のねらい)

1	経営健全化による安定した病院経営
2	
3	0
4	0
5	0
6	0

(評価の見方) **S** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった **A** 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった **B** 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める **D** 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない **E** 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) **実績なし** 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和元年度)

事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do)												Check		Action		
No.	事務事業 (第4次実施計画)	施策	従事者数	会計区分	H30予算(円) H30決算(円)	R元予算(円) R元決算(円)	何・誰に対して (対象)	どう働きかけた結果 (手段・方法)	どうなったか(生まれた成果・効果)	事務事業の指標	R元目標値	R元実績値	評価	取組時間	事務改善	休・廃止
1							政策的事業 無し									
2																
合計					R元予算(円)	0										
					R元決算(円)	0										

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)	
<p>病院経営企画課は、集中的に市立病院の経営改革に取り組むため、令和元年9月に公表された茅ヶ崎市立病院リバイバル・ロードマップに基づき、10月に新設された。</p> <p>令和元年度の施策指標は、いずれの数値についても前年度を上回る結果となった。医業収支比率及び病床利用率については、10月より5階東病棟を再開棟したことが、入院患者数の増加や病床利用率の上昇に寄与したものと考えられるが、経常収支比率については、リバイバル・ロードマップに基づく一般会計からの負担金及び補助金の増額が大きく影響したことによるものであり、病院の経営状況が改善されたとは言い難い状況である。</p> <p>また、リバイバル・ロードマップに掲げた、目標とする重要業績評価指標(KPI)の達成状況については、収支改善に向けた具体的な取り組みである収入増に向けたアクション、支出減に向けたアクションについて着実に推進したものの、令和4年度までの目標に対して達成したものは、「1人1日当たりの外来単価」と、一般会計からの補填的財政支援があったことによる「現金現在高」のみとなった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行により、3月の入院及び外来患者数は減少し、収益に影響を与えた結果となった。新型コロナウイルス感染症による影響は、今後、病院経営を行う上で、非常に大きな影響を及ぼすことが予想されるため、国の補正予算等の動向に注視しながら収支改善に努めていかなければならないと考える。</p> <p>時間外勤務については、新設された組織にて前年度との比較はできないが、事務員における時間外勤務は増加しており、時間外勤務手当の増加が病院経営にも影響を与えるため、削減に努めていく。</p>	

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

No.	事務事業(事業がない場合は－)	事務改善の内容
		政策的事業 無し

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

No.	事務事業(検討事業がない場合は－)	休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載)
		政策的事業 無し